

# 急速に変化する競争要因

(2023年12月からのアップデート)

February 28, 2023

名古屋大学 客員教授

野辺 継男

# 重要ポイント

- **EV市場は拡大しているが、欧米で11月頃から成長鈍化。(1月回復か?)**
  - 中国、アジア(タイ、インド)では市場が拡大。
  - Tesla、BYD、Li AutoといったEVメーカーは、世界の自動車市場の2020年に1%だったが、今年は7%に拡大。
  - 新興国では低価格モデルが需要をけん引。先進国では低価格モデル待ち(BEVが市場性と合っていない)。
  - それでも、米国では11月までにBEVが100万台を突破。(Teslaは10月までの累計で前年比37%増)
  - GM、Ford、VWのBEV化が振り出しに戻る。一方、BEV専用メーカーは成長。
- **1-11月の登録台数1,212万台(38%増)、シェア16%。**
  - 2023年12月、世界のEV販売台数は過去最高の150万台超に達した。
- **2024年に向けBYD、Zeely、Hyundai/KiaのBEV新車攻勢が急拡大。**
- **BEV+PHEVの寡占化が進む。**
  - TeslaとBYDがEV世界市場の35%。第3位のVWグループの市場シェアは7.3%に減少。
- **BYD、新型「Dolphin」\$14,000からスタート。**
  - BEV \$15,000、PHEV \$11,000のQin(秦) Plus EV Honorエディションを発表
- **Geely Zeekr 00760日以内に1万台のEV 007を製造。**
- **Appleが撤退。**

# Geelyの動向 (ZEEKR)

## ■ ZEEKRが\$30,000以下の007セダンを発売、航続距離は540マイル、5万台以上の予約注文が入る

- 最近まで、ZEEKRのモデルはEV市場のニッチセグメントをターゲットにしていた。しかし2023年11月初旬、ZEEKRは新型EV「007」の予告を開始した。
  - ✓ これは同社初のセダンで、大衆市場向けに設計された初のモデルである。
    - 同社は現在、フラッグシップの001シューティングブレーキ、001FRと呼ばれる高性能モデル、009と呼ばれる多目的車 (MPV)、そして最近ではZEEKR Xと呼ばれるSUVを提供している。
- 今日、ZEEKRは他のグローバル市場に進出する前に、中国で007セダンを正式に発表した。
  - ✓ ねじり剛性43,500N・m/degを持つリアエンド一体型メガキャストアルミボディを初めて採用したモデルである。
  - ✓ また、ZEEKRが新たに自社開発したオーディオシステムと、1つのLiDARセンサー、12台のHDカメラ、5台のミリ波レーダーで構成されるADASを初めて搭載したセダンでもある。



# Global Automotive Demand Tracker (S&P Global)

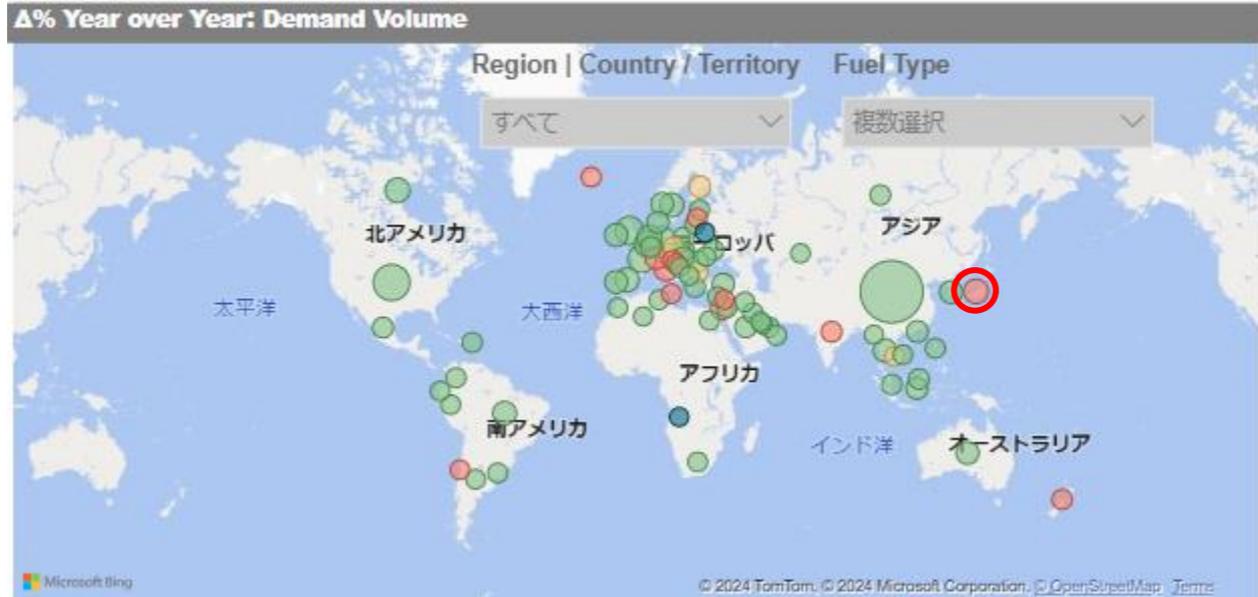
非PEV  
(ICE、HEV)



January 2024

Region	Demand Volume	Δ% YoY
Europe	1,133K	▲ 13.38%
Greater China	1,572K	▲ 40.97%
Japan/Korea	447K	▼ -5.23%
Middle East/Africa	287K	▼ -12.73%
North America	1,192K	▲ 3.75%
South America	271K	▲ -0.23%
South Asia	820K	▲ 10.74%
合計	5,721K	▲ 12.72%

PEV  
(BEV、PHEV)



January 2024

Region	Demand Volume	Δ% YoY
Europe	244K	▲ 45.70%
Greater China	774K	▲ 157.70%
Japan/Korea	20K	▲ 13.90%
Middle East/Africa	10K	▼ -26.28%
North America	139K	▲ 23.99%
South America	10K	▲ 215.50%
South Asia	21K	▲ 55.67%
合計	1,219K	▲ 94.06%